



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 古林紙工株式会社

上場取引所 東

コード番号 3944 URL <http://www.furubayashi-shiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 古林敬碩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員統括管理本部長 (氏名) 宮崎明雄

TEL 06-6941-8561

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	12,717	1.2	578	6.6	590	7.5	400	8.8
2018年3月期第3四半期	12,874	6.3	542	17.5	549	19.3	368	17.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 247百万円 (73.0%) 2018年3月期第3四半期 913百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	369.15	365.10
2018年3月期第3四半期	339.46	334.15

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	18,533	9,076	43.5
2018年3月期	18,487	8,876	42.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 8,055百万円 2018年3月期 7,803百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		2.50		25.00	
2019年3月期		25.00			
2019年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」と記載しております。株式併合を考慮しない場合の2018年3月期の1株当たり期末配当金は2円50銭となり、1株当たり年間配当金は5円となります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	4.5	700	11.0	650	1.7	420	2.7	388.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	1,776,820 株	2018年3月期	1,776,820 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	691,073 株	2018年3月期	704,795 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	1,075,812 株	2018年3月期3Q	1,072,184 株

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次いだ自然災害による減産や物流網への影響も持ち直しの動きを見せるなか、個人消費は回復基調を維持し、企業収益の改善傾向を背景に設備投資は回復基調にあり、雇用環境は引き続き堅調に推移しました。一方で原材料費高、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の激化、中東・アジアでの地政学リスクの懸念など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

中国では、雇用・所得環境が改善し、個人消費は底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の長期化も懸念され、生産や投資を抑制するなど景気に減速傾向が見受けられました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「包装を通じて社会に奉仕します」の社是に則り、当社グループ一体でお客様の環境に則した事業活動を推進するとともに、「優秀な製品」「確実な納品」「適正な価格」の造り込みを進めてまいりました。

その結果、売上高は12,717百万円(対前年同期比1.2%減)、営業利益は578百万円(対前年同期比6.6%増)、経常利益は590百万円(対前年同期比7.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は400百万円(対前年同期比8.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の資産は、受取手形及び売掛金が262百万円増加したことや現金及び預金が169百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し18,533百万円となりました。当第3四半期連結累計期間末の負債は、長短借入金が152百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ154百万円減少し9,457百万円となりました。当第3四半期連結累計期間末の純資産は、利益剰余金が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ200百万円増加し9,076百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績につきましては、2018年5月2日に公表しました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,507	1,339
受取手形及び売掛金	4,801	5,063
商品及び製品	678	668
仕掛品	323	323
原材料及び貯蔵品	303	275
その他	164	158
貸倒引当金	△16	△13
流動資産合計	7,762	7,812
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,092	1,825
土地	1,689	1,689
その他(純額)	942	1,118
有形固定資産合計	4,723	4,631
無形固定資産	77	75
投資その他の資産		
投資有価証券	5,244	5,302
退職給付に係る資産	297	322
その他	383	392
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,923	6,014
固定資産合計	10,723	10,721
繰延資産		
社債発行費	3	1
繰延資産合計	3	1
資産合計	18,487	18,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,737	3,806
短期借入金	1,290	1,040
1年内返済予定の長期借入金	616	636
1年内償還予定の社債	—	600
未払法人税等	167	27
賞与引当金	132	42
その他	1,059	1,168
流動負債合計	7,001	7,319
固定負債		
社債	600	—
長期借入金	1,085	1,163
退職給付に係る負債	109	112
資産除去債務	3	3
その他	814	860
固定負債合計	2,611	2,138
負債合計	9,611	9,457
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,151	2,151
資本剰余金	1,383	1,389
利益剰余金	2,145	2,491
自己株式	△968	△949
株主資本合計	4,712	5,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,386	2,425
為替換算調整勘定	463	372
退職給付に係る調整累計額	242	176
その他の包括利益累計額合計	3,091	2,972
新株予約権	33	16
非支配株主持分	1,040	1,006
純資産合計	8,876	9,076
負債純資産合計	18,487	18,533

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	12,874	12,717
売上原価	10,653	10,475
売上総利益	2,220	2,242
販売費及び一般管理費	1,678	1,664
営業利益	542	578
営業外収益		
受取利息	10	16
受取配当金	68	75
その他	38	21
営業外収益合計	116	112
営業外費用		
支払利息	21	18
その他	88	82
営業外費用合計	109	100
経常利益	549	590
特別利益		
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	549	591
法人税等	172	178
四半期純利益	377	413
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	368	400

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	377	413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546	38
為替換算調整勘定	38	△138
退職給付に係る調整額	△48	△67
その他の包括利益合計	536	△166
四半期包括利益	913	247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	891	281
非支配株主に係る四半期包括利益	22	△34



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	中国	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	10,095	2,778	12,874
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	642	642
計	10,095	3,421	13,516
セグメント利益	517	151	668

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	668
セグメント間取引消去	1
その他の調整額	△127
四半期連結損益計算書の営業利益	542

(注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	中国	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	9,903	2,814	12,717
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	697	697
計	9,903	3,510	13,414
セグメント利益	590	112	702

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	702
セグメント間取引消去	1
その他の調整額	△125
四半期連結損益計算書の営業利益	578

(注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。